

空気をデザインする会社

SINKO

汎用品では希望にぴったりの
機器が見つからない!

空調機は最大80,000m³/h。室外機は全24種類を組み合わせて、540馬力まで対応。豊富なラインアップを活かして、高静圧対応、大容量加湿器、全熱交換器、再熱ヒーターなどの組み合わせが可能です。お客様の希望に“ぴったり”合う機器がきっと見つかります。

80,000
m³/h

540
馬力

1,500
m³/h

8
馬力

空きスペースに
ちょうど
いいサイズってないの?

外形は10mm単位
で設計できるため、空きスペースにジャストサイズで設置可能。省スペース化に貢献します。

ヒートポンプ
空調機シリーズ
室外機セパレート型
ヒートポンプ空調機Ⅱ
SINKOヒートポンプ

比べてください、SINKOの ヒートポンプ空調機

空調も環境に配慮して
選びたい!

室外機の熱交換器構造の変更により冷媒封入量を従来機より最大で25%削減。冷媒使用量を削減することでCO₂排出量を低減し、サステナブルな社会の実現に貢献します。

デフロストによる給気温度の低下を抑える方法はない?

冷媒系統が異なる複数の室外機同士がデフロストする(除霜運転)タイミングをコントロールします。デフロストの重なりを防止することで給気温度の低下を抑制し、安定した室温のキープに貢献します。

新晃工業株式会社 www.sinko.co.jp

東京支社:東京都中央区日本橋浜町2丁目57番地7号 〒103-0007 TEL(03)5640-4155
大阪支社:大阪市北区南森町1丁目4番5号 〒530-0054 TEL(06)6367-1801
名古屋支社:名古屋市中村区名駅南1丁目24番30号 〒450-0003 TEL(052)581-8661

札幌営業所:札幌市北区北10条西3丁目9番2号 〒001-0010 TEL(011)708-3177
東北営業所:仙台市青葉区中央1丁目6番35号 〒980-0021 TEL(022)262-7445
九州営業所:福岡市博多区冷泉町5番35号 〒812-0039 TEL(092)291-8545

ヒートポンプ空調機 空気の`質`最適化 新晃工業

オフィスビルの電力消費の中で最も大きい割合を占める空調。全体の約8割を占めている(グラフ参照)。

ヒートポンプ空調機シリーズには、空調機本体と室外機が一体となったオージュオもある。本体と室外機を接続し、試運転まで行った上で納品されるため、現地での工期と施工費が大幅に削減される。

電気料金の値上げや生産現場のCO₂排出削減の観点から、空調設備の見直しを検討されている。また、コロナ禍を機に、建物の空気の`質`にも注目が集まっている。

ひとくちに空調といっても、身近なエアコンだけでなく「目に触れない機器」セントラル空調がある。オフィスビルなど規模が大きく、外気導入量のコントロールなど高い機能が求められる現場で採用される。新晃工業はセントラル空調機のパイオニアとして、国内初のエアハンドリングユニット(全熱調和機)やファンコイルユニットを開発、業界をリードし続けている。

主に水方式空調機の分野で、長年空気の質に向き合い続けた同社が、ヒートポンプ空調機にも注力している。「ヒートポンプ空調機Ⅱ」は、施工の手軽さと、馬力、構成、機能、操作、設置スペースなど細かな要望に合わせた設計で、汎用品にはない対応力の特徴とする。毎時1500〜8万立方メートルまでの風量が選定でき、外形は10mm単位でのサイズ設計が可能。既存設備の再利用、分割搬入もできるため、水方式既設機器からの更新にも対応。室外機の冷媒封入量を従来機より最大で25%削減することでCO₂排出量を抑え、環境に配慮した製品であることも特徴の一つ。建物の規模や用途に合わせて、高度な技術力と柔軟な対応力を生かし、オフィスビルの抱える課題にも、最適な「空気質」で応えている。

平均的なオフィスビルにおける
用途別電力消費比率

エレベーター 5%
その他 7%
OA機器 16%
照明 24%
空調 48%

出典:経済産業省 資源エネルギー庁推計

働く環境 アップデート!! オフィス環境改革

全てのオフィスワーカーが効率よく、また快適に仕事できる環境とは一。近年、オフィス環境は大きく変化している。効率化、可変性の高さを追求したオフィス設計を基軸に、感染症対策を視野に入れた動線、テレワークやサテライトオフィスにまたがる社員間の円滑なコミュニケーション。もちろん、地球環境負荷低減を目的とした省エネ計画も欠かせない。タスクを円滑に処理しながら、全方位で負荷のかからない職場環境を提案する、各社の動きを追った。

可変性高い空間デザイン 社員の結束感高める 内田洋行

コロナ禍を経て、テレワークやサテライトオフィスなど、働く場は多様化した。その一方で、社員間の円滑なコミュニケーションに課題を感じる企業が増えている。チームが、一緒に働いているという、所属意識を高めるようなオフィスづくりとは。情報通信技術(ICT)を活用したオフィスを積極的に提案してきた内田洋行。高橋浩治執行役員に取材した。

社員に取組を聞いた。同社は社員同士の結束感を高める必要情報を自在にコントロールできるような場「Team Base」を提案する。チームメンバーが結果的に作業の場として、地域産材を活用した可変性の高い空間デザインと、ネットワークをつなぎながら快適なグループワーク、ひらめきや創造性を高める投影システムなどのICTをパッケージ化して、チームの成果や目的意識を明確化させる空間だ。

このほか、同社のショールームでは米Steelcaseと協業し、色彩豊かなデザインと最先端のエコ素材、ICTが融合したオフィス空間も披露している。

出社する社員と在宅勤務の社員に、対し、オフィスやワークの状況を可視化し、一体化させる環境づくりも提案。「スマートオフィスナビゲーター」は手元の端末などで社内でのチームメンバーの居場所や会議室の利用状況、混雑状況をリアルタイムで集約し、表示する。ビルの空調管理、照明の稼働状況など、館内設備も簡単操作できる。

社内のオンライン配信ルームからセミナー動画を配信する企業も増えている中で、PCやカメラなどのノイズを簡単に切り替えて操作できるAV制御システム「ユタマリアエレナー」も好評だ。

高橋氏は「自社実践でTeam Baseをはじめ、各サービスの機能を高めてきた。結果を生かし、より効果的な設備・運用を提供していく」と意気込む。

利便性高いICTで仕事のはかどる環境と社員同士の円滑なつながりを支援する内田洋行の「Team Base」は、出社した社員と在宅勤務の社員に、対し、オフィスやワークの状況を可視化し、一体化させる環境づくりも提案。

I Jプリンターで省エネ CO₂排出6割削減 エプソン

省スペース化を実現した、インクジェット式プリンターLMシリーズ。業務用としてビジネスシーンをサポートしながら省エネ性に優れた製品だ。

(トナーパウダー)を熱で溶かして紙に圧着させ印刷するレーザープリンターが主流。そのような中、エプソンからインクジェットプリンターの業務用モデルが発売され、複合機市場に新たな風を吹き込んでいる。

熱を発生させるレーザープリンターは消費エネルギーが非常に大きい。一方、インクジェット式は液体インクを紙に吹き付けて印刷するため、印字プロセスに熱を必要としない。

エプソンはビジネスユーザーにも適した顔料インクを開発。蛍光マーカーを使用して、色鮮やかに、また画面印刷にも耐えられる。2019年に発売された「LX10050MF」シリーズは毎分100枚を処理する高速機種。このほか、同機より35%省スペースを実現した中高速機種「LM」シリーズは毎分60枚、50枚、40枚と、使用環境に合わせた豊富なラインアップをそろえる。

エプソンは、インクジェット式プリンターは消費エネルギーが非常に大きい。一方、インクジェット式は液体インクを紙に吹き付けて印刷するため、印字プロセスに熱を必要としない。

エプソンは、インクジェット式プリンターは消費エネルギーが非常に大きい。一方、インクジェット式は液体インクを紙に吹き付けて印刷するため、印字プロセスに熱を必要としない。

オフィスでの電力使用量の割合を見ても、パソコンやコピー機を含むOA機器は全体の16%を占める(資源エネルギー庁調べ)。ここに同社はインクジェットプリンターを提案することで、レーザープリンターと比較して、二酸化炭素(CO₂)年間排出量の6割以上削減をうたう。「LM」シリーズの場合、使用できるプリンターをインクジェット式に替えるだけで、作業負担なく省エネ対策できる仕組みだ。

エプソンは、インクジェット式プリンターは消費エネルギーが非常に大きい。一方、インクジェット式は液体インクを紙に吹き付けて印刷するため、印字プロセスに熱を必要としない。

オフィスに帰ろう。

Team Base、はじまる。

忘れてしまっていないだろうか。オフィスの片隅で交わした何気ない会話の中から新しいビジネスのアイデアが生まれた瞬間を。UCHIDAが新たに提案するのは多様なメンバーを結集させ、イノベーションを引き起こす「Team Base」と呼ばれる拠点づくり。仲間がすぐそばにいるから課題が解決できる。オフィスでしか生まれないリアルなコミュニケーションが、チームの可能性を大きく広げる。

Change Working 2023

Change Working 検索

※「チェンジ・ワーキング」は、株式会社内田洋行の登録商標です。

株式会社内田洋行 事業企画部
〒104-0033 東京都中央区新川2-3-9 内田洋行新川第二オフィス

お問い合わせ [お客様相談センター] 0120-077-266
(受付時間 9:00〜17:00 土・日・祝日を除く)

当社は、オルガテック東京2023に
出展いたします。

プリンターから始める 脱炭素社会の実現。

EPSON

EXCEED YOUR VISION

お使いのレーザープリンターをエプソンのスマートチャージにかえるだけでCO₂排出量を47%以上削減

New 待望の40枚/分〜60枚/分**2のA3カラー複合機<LM>シリーズ発売。

環境貢献を、もっと手軽に、確実に。

インクジェットを選択する、たったそれだけでできること

インクジェットプリンターは、レーザープリンターから置き換えたその瞬間から、消費電力を削減し、CO₂排出量を抑えていくことが可能です。負担も少なく、すぐに効果が期待できる、環境貢献策です。

エプソンのスマートチャージ

あなたのオフィスならどれだけCO₂削減できる? 簡単シミュレーションで今すぐチェック

エプソンのスマートチャージに関するお問い合わせはこちら。 050-3155-8655 | 詳しい情報はWEBサイトよりご確認ください。 epson.jp/smc/ スマートチャージ 検索

※1:エプソンのスマートチャージ対応A3複合機各種のTEC値とENERGY STAR® 画像機器基準Version3.0Cに定められたTEC基準値で比較した場合の削減比率。<LM>シリーズは60ppm機、<LM>シリーズは40ppm機、<PM>シリーズは24ppm機のTEC基準値と比較。※2:<LM>シリーズのA4横画面の印刷スピード。印刷スピード算出条件はエプソンのホームページをご確認ください。*掲載内容および仕様・デザインは、2023年3月現在のものです。予告なく変更することもありますのでご了承ください。*詳しくはエプソンのホームページをご確認ください。

エプソンのホームページ epson.jp | エプソン販売株式会社 セイコーエプソン株式会社